

# なかいずみ学府だより

令和2年7月1日  
第1号

発行：なかいずみ学府事務局(磐田中部小)

## ～第1回なかいずみ学府合同研修会～

6月10日、なかいずみ学府（磐田中部小、磐田西小、磐田第一中、磐田なかよしこども園）合同の研修会を行いました。コロナウイルス感染症拡大防止のため、1つの会場に全職員が集まったの研修会を行うことはできません。そのため、会の冒頭の学府長(袴田恭紹磐田中部小校長)挨拶と今年度のなかいずみ学府の取組についての説明を、オンライン会議システムである「Zoom」を使って実施しました。



タブレットPCを使ってZoomを行い、各校をつないで合同研修会の全体会を実施した。



分散会では、なかいずみ学府が取り組んでいる「学校風土向上作戦」などについて話し合った。

Zoomによる全体会のあとは、各校、少人数に分かれてグループ協議を行いました。以下の2つのテーマのもと活発な話し合いがなされました。

協議1 「ありがとう」「深呼吸」「Nスタイル(小人数での話し合い活動)」の取組について

協議2 12か年のゴールを見通して身に付けさせたい資質・能力について

～グループ協議で出された意見を少し紹介します～

- ・「ありがとう」と「深呼吸」については、継続して指導していきたい。子供との関係づくりは大事である。一人の人間として、子供を人として大切にする意識をもちたい。
- ・低学年は「できないのは当たり前」という気持ちで、気持ちを落ち着けて対応するように意識し、褒める場を逃さないようにする。褒めたほうが頑張れるのは、子供も大人も同じである。
- ・「相手の話を聞けるようになる」と「相手の意見を受け止められること」ができるようになる。→「Nスタイル」(考えを深める)につながっていく。
- ・12か年で育むべき資質・能力は、一中の学校教育目標「しなやかに」「たくましく」「生き抜く」でどうか。レジリエンス(精神回復力)の要素が含まれている。
- ・コミュニケーション能力やかかわる力を高めていきたい。より良い人間関係や自分が好きと言える子を育てたい。自分を認められる子にしたい。
- ・12か年の子どもをどう見取るのか、こども園での子供の育ちが小・中学校へどうつながっていくのかを意識していくことの大切さを改めて感じた。

「ありがとう」「深呼吸」「Nスタイル」は、なかいずみ学府共通実践事項の1つであり、「学校風土向上作戦」というものです。詳しくは、裏面で紹介します。

## 学校風土向上作戦 <なかいずみ学府 共通実践事項のポイント>

小中一貫教育の柱として、今年度も学校風土向上作戦に取り組んでいきます。

### ① 「ありがとう」で学校を変える!!

当たり前を『褒めて』『認めて』『感謝』して、子供を育てます。

☆子供のよい行いや言葉、当たり前に行っていることを認めて見つけて「ありがとう」を伝えます。

☆子供に「あなたの何気ない言動が、誰かを支えているんだよ」ということを認識させ、子供も先生もみんな「ありがとう」を伝えます。



### ② 「深呼吸」で世界が変わる!!

落ち着いて、心を整えて、穏やかに子供に接します。

☆衝動的な怒りの感情は長くても6秒がピークとされています。と言うことは、「大きく息を吸って～、はいて～、の深呼吸」で、怒りの世界から通常の穏やかな優しい本当の心に戻ることができます。そうすれば、子供への言葉掛けや態度が変わります。

☆これは子供たちにも当てはまります。友人とトラブルになる前に、まずは「深呼吸」することを指導していきます。

### ③ 「Nスタイル」で共感が生まれる!!

子供は、自分の話をしっかり聞いてもらうことで、安心して自分の考えを伝えることができます。

☆上記の考えのもと、「N(なかいずみ)スタイル」とは、「自分の考えをもち、少人数で友達の考えを聞いて話し合うことを通して、考えを一層深め合うこと」と定義しています。

☆新学習指導要領で求められる「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、学年の実態や教科の特性に応じ、新しい生活様式の中で「Nスタイル(少人数での話し合い活動)」を活用します。

☆「Nスタイル」を活用することで、児童・生徒の中に共感が生まれ、安心が育まれていきます。

①～③の取組を、御家庭でも参考にしていただけたらと思います。

子供たちの自己肯定感を高めるために、学校、家庭、地域と連携しながら、なかいずみ学府の子供たちを育てていきましょう。

